

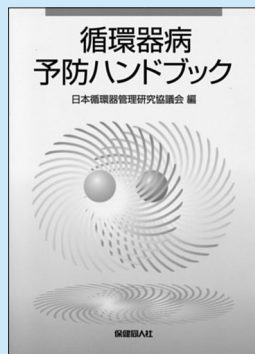
# BOOKS

## 日本循環器管理研究協議会(編) 循環器病予防ハンドブック

諏訪良子

三菱化学(株)横浜健康開発センター

### 生活習慣病予防活動のデータベースとして必携の1冊



●B6判 304 ページ

定価：本体 2,800 円＋税

保健同人社 (Tel.03-3234-6111)

「健康日本21」が推進されている昨今、地域や職域での疾病予防活動を担う私たち保健師の活動として、「生活習慣病」対策の重要性が高まっている。

「生活習慣病」は特定の疾患をさすものではないが、生活習慣と密接に関連している点から、本書にとりあげられている「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」などの循環器病に関連した活動も多いのではないだろうか。

私は事業所での健康管理活動として、健康診査をスタートに、その事後措置としての保健指導、治療域となった人への受診勧奨、そして、集団教育の立案や評価指標のまとめなどを行っている。そのような活動のなかで、さまざまな資料を調べるとも多いが、すぐに資料が見つからなかったり、すでに調べた資料の整

理に苦慮することがある。

本書は、循環器病健康診査の健診データを正確に把握し、それらをどのように解釈するべきかわかるよう、「血圧」「尿検査」「血液生化学検査」など、それぞれの検査項目について解説してある。

生活習慣病の予防対策の基本であるライフスタイル改善については、食事、運動、休養、睡眠などの項目ごとに生活指導のポイントが、よく使用される資料からの引用を含めて解説されている。

また、職域と地域では、対象者の生活背景や法的根拠が異なることを考慮

し、それぞれの立場でのポイントが記されており、自分の活動場所により参考にすることができる。各疾病についての管理、治療に関しても、最新のガイドラインによる情報をもとに、基本的な治療方針について解説してある。また、巻末には循環器病に使用される治療薬の商品名や主な副作用がまとめられた付録もあり、非常に便利である。

保健計画立案の際には、老人保健法、「健康日本21」の概要が記されているため、考え方の基本を整理するうえで参考となる。

ハンドブックとは、手引き書という意味であるが、本書は循環器病についての疾病予防活動を行う際の、まさに手引き書となる1冊である。そして、データベースとして必携であると思われる。